

小牧連携だより



小牧市民病院外観図

特集

- 新任医師紹介 P 2

連携ニュース

- 新室長・師長ごあいさつ P 5
- 患者支援センター満足度アンケート P 6
- ドラッグインフォメーション P 8

受付時間

平日 午前8時30分～午後7時
土曜 午前9時～正午

TEL 0568-76-1434
FAX 0568-74-4516



笑顔と一緒に、育っていききたい。
Komaki

■ 新任医師紹介

本年4月に新しく21名の常勤医師が着任しました。新たなメンバーを加え、地域におけるシームレスな医療提供体制の構築を進めてまいります。

今後も地域の医療機関の先生方と緊密な関係を保ち、地域包括ケアシステムの中で機能できる急性期病院を目指してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

消化器外科 部長
浅野 智成

日本外科学会外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本肝臓学会肝臓専門医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本痔臓学会認定指導医
日本胆膵外科学会胆膵外科高度技能専門医

●ひとことメッセージ●
専門は肝胆膵外科です。安全かつ過不足のない手術が提供できるように取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

消化器外科 部長
宇野 泰朗

日本外科学会外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医

●ひとことメッセージ●
専門は大腸癌治療を中心とした消化管分野になります。地域の皆様にお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

耳鼻いんこう科 医長
鈴木 克尚

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門医
麻酔科標榜医

●ひとことメッセージ●
名古屋大学病院、中部労災病院で頭頸部腫瘍の診療をしてまいりました。どうぞよろしくお願い致します。

放射線診断科 医長
吉安 裕樹

日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本医学放射線学会指導者
検診マンモグラフィ読影認定医
肺がんCT健診認定機構肺がんCT健診認定医師

●ひとことメッセージ●
迅速、的確な読影レポート作成が出来るように取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

放射線治療科 医長
近藤 拓人

日本放射線腫瘍学科及び日本医学放射線学会共同認定 放射線治療専門医
日本専門医機構認定 放射線科専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本医学放射線学会 研修指導者
臨床研修指導医講習会修了
緩和ケア研修会修了

●ひとことメッセージ●
放射線治療を担当しております。がん診療拠点病院として放射線治療のご依頼に対応できるように取り組んでまいります。

循環器内科 医師
松本 惇平

●ひとことメッセージ●
地域の皆様にお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

循環器内科 医師
仙石 尚也

●ひとことメッセージ●
春日井市民病院で主に心臓カテーテル治療、心不全管理をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科 医師
吉田 幸平

●ひとことメッセージ●
小牧市民病院で医師1-4年目まで研修し、5年目は公立陶生病院で1年間勤務、6年目に戻って参りました。消化器内科専攻、病棟・外来・検査業務に従事しています。どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器内科 医師
森下 琢斗
日本内科学会内科専門医

●ひとことメッセージ●
江南厚生病院や安城更生病院にて研修をしております。
お世話になることも多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

腎臓内科 医師
藤田 結希

●ひとことメッセージ●
春日井市民病院にて初期研修、腎臓内科研修をしております。
一年のみと短い期間ではありますが、地域医療に貢献できるよう励んでまいります。よろしくお願いいたします。

糖尿病・内分泌内科 医師
今来 茜

●ひとことメッセージ●
公立陶生病院で糖尿病や内分泌疾患の診療を担当しております。地域の皆様の健康に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

消化器外科 医師
加藤 希
Certificate of da Vinci Technology
Training as Console Surgeon

●ひとことメッセージ●
名古屋記念病院 外科からまいりました。
至らぬ点多いかと存じますが、少しでも皆様のお役に立てるよう努力いたします。

消化器外科 医師
野地 雄太
日本外科学会外科専門医
Da Vinci x Certificate / Console Surgeon

●ひとことメッセージ●
小牧市民病院で臨床研修、外科研修を行い、公立病院陶生病院で専攻医として研鑽を積み再度赴任することになりました。
今後とも御指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

小児科 医師
近藤 雄介

●ひとことメッセージ●
以前も小牧市民病院に勤めており、昨年度までは沖縄県のこども病院に勤めていました。
小牧市民病院で再度勤めることができ嬉しいです。よろしくお願いいたします。

産婦人科 医師
岡見 ゆりか
日本産科婦人科学会産婦人科専門医

●ひとことメッセージ●
名古屋掖済会病院で産婦人科研修を
してまいりました。どうぞよろしく
お願いいたします。

整形外科 医師
弓削田 哲弘

●ひとことメッセージ●
至らぬ点も多いですが地域の医療に
貢献できるよう努めて参ります。ど
うぞよろしく御願いたします。

形成外科 医師
小島 暉理人

●ひとことメッセージ●
主に外傷や虚血肢、眼瞼下垂症など
の診療をしております。どうぞよろ
しくお願い致します。

皮膚科 医師
鈴木 須真子

●ひとことメッセージ●
地域の皆様のお役に立てるよう、皮膚
科診療に努めてまいります。よろしく
お願いいたします。

泌尿器科 医師
小椋 彩恵子

●ひとことメッセージ●
地域の皆様のお役に立てるよう、努め
てまいります。よろしく願いたし
ます。

眼科 医師
梅村 祐美

●ひとことメッセージ●
眼科専攻医2年目の梅村です。まだ至
らぬ点ばかりですが精一杯頑張ります
ので、何卒よろしく願いたします。

麻酔科 医師
仲本 正之
日本麻酔科学会麻酔科専門医
日本集中治療医学会集中治療科専門医
麻酔科標榜医

●ひとことメッセージ●
名大病院、大垣市民病院で手術麻酔
や集中治療を経験してまいりました。
よろしく願いたします。

■患者支援センター 地域連携・医療相談室 室長ごあいさつ

このたび、患者支援センター地域連携・医療相談室の室長を拝命いたしました。

病院目標である「患者・家族が安心できる地域医療連携の醸成」を大切にして、患者さんご家族の思いに寄り添った支援を心がけてまいります。

病診連携・病病連携を基盤に、医療と介護がなめらかにつながる体制づくりを地域の皆様とともに進めてまいります。

今後ともご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

地域連携・医療相談室
室長
津坂 英彦

■患者支援センター 地域連携・医療相談室 室長補佐ごあいさつ

このたび、地域連携・医療相談室室長補佐に就任いたしました今川と申します。

患者支援センターでは医療相談やがん相談、介護相談などの多岐にわたる相談内容にスムーズに対応できるよう、窓口を一本化し専門の多職種で対応しています。

患者さんに安心して治療や療養していただくためには、地域の先生方や医療関係者の皆様との密な連携が大切だと考えております。

信頼いただける対応に努めて参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

地域連携・医療相談室
室長補佐
今川 美和

■患者支援センター 入退院支援室 室長補佐ごあいさつ

前任の今川室長補佐の後任として、4月より入退院支援室長補佐を拝命しました杉本と申します。

当入退院支援室では、入院前から退院までを見据えたPFM（患者フロー・マネジメント）に注力し、患者様・ご家族様が安心して地域療養へ移行出来るように支援しております。

皆様からのご意見を賜りながら緊密な連携により、切れ目のない医療・ケアを共に実現してまいりたいと存じます。

ご指導の程よろしくお願いいたします。

入退院支援室
室長補佐
杉本 篤史

■患者支援センター満足度アンケート

当院では、質の高い地域医療連携体制を構築するため、登録医療機関の皆様方に毎年アンケート調査を実施しています。お忙しい中、多くの先生方にご協力いただきありがとうございました。

今回のご意見・結果を真摯に受けとめ、患者さんや地域の医療機関の皆様方のご期待に応えられる病院づくりを目指してまいります。

【医科】回答数 99 (配布数：401 回答率： 24.7%)

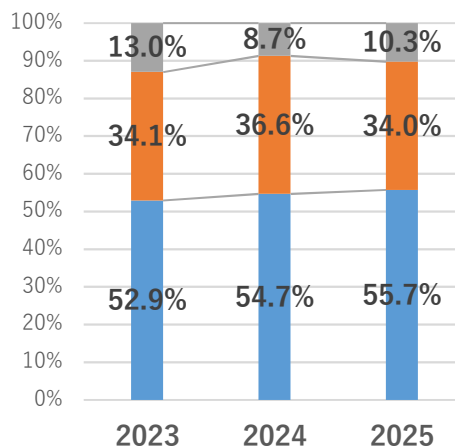
【歯科】回答数 23 (配布数：125 回答率： 28.4%)

予約センターに関する質問

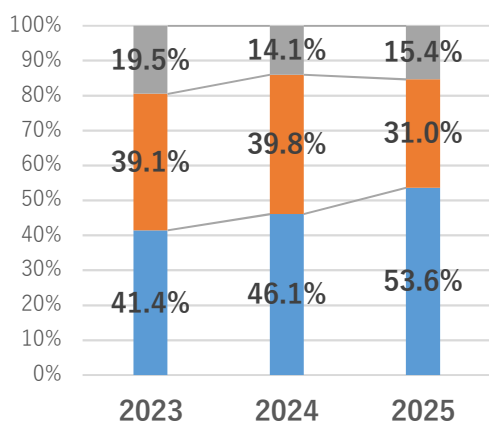
10段階評価

- 不満 (1~5)
- 普通 (6~8)
- 満足 (9~10)

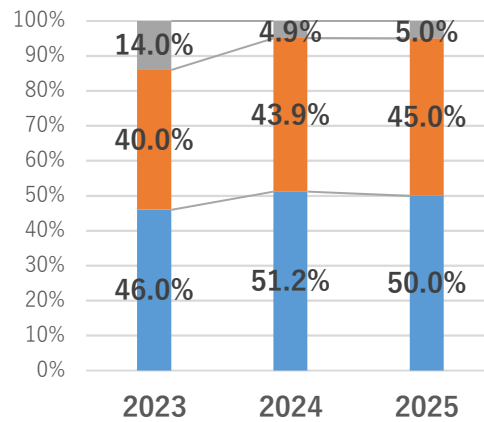
電話対応は丁寧ですか



予約取得はスムーズですか

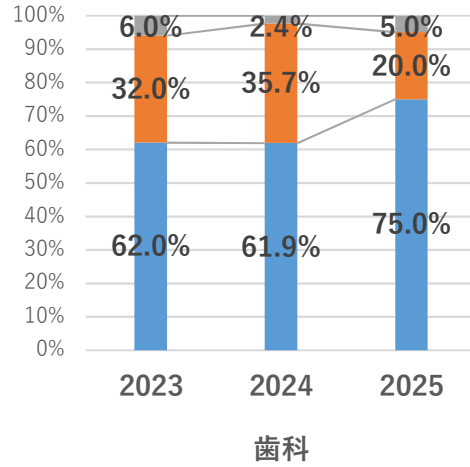
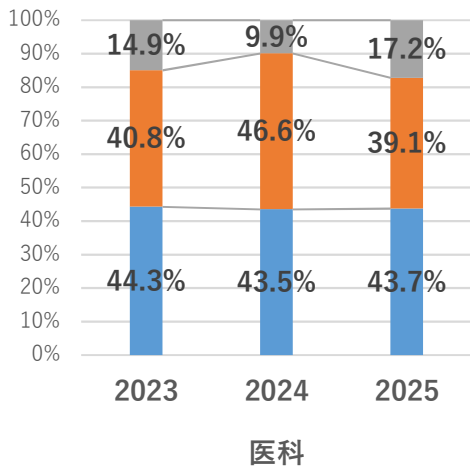


医科

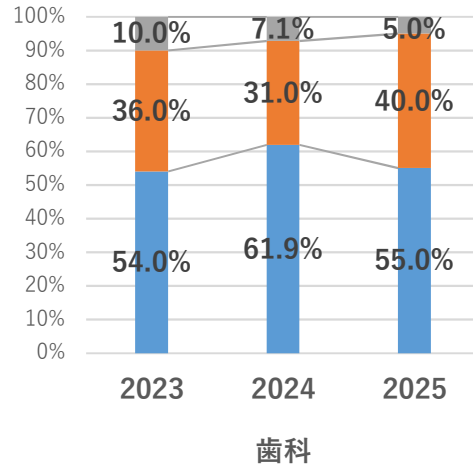
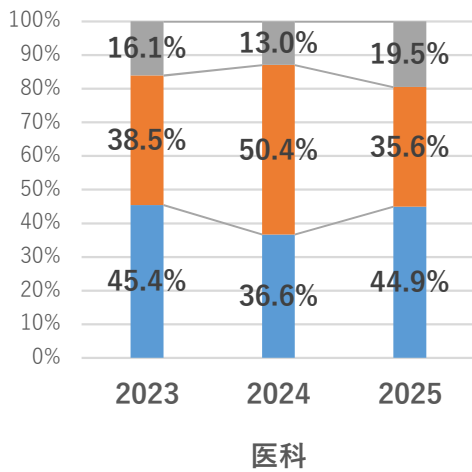


歯科

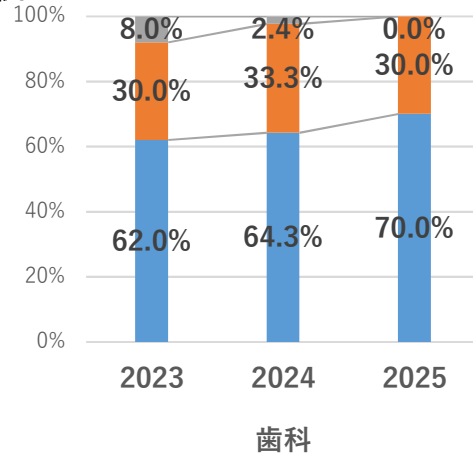
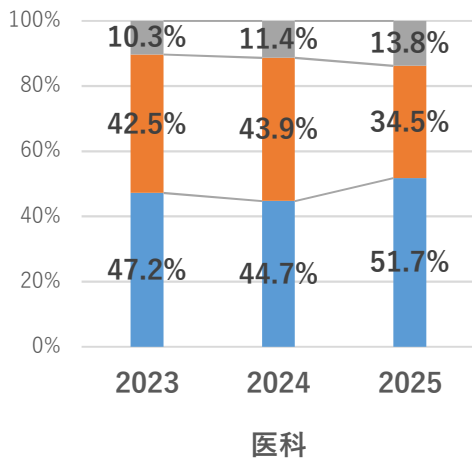
回答書の内容は十分ですか



回答書送付のタイミングは適切ですか



総合評価



■ ドラッグインフォメーション

製薬会社から、医薬品の適正使用情報が通知されております。適切な検査の実施や副作用症状の観察等、副作用の発症・重篤化防止に努めていただきますようお願いいたします。

○酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い -高マグネシウム血症-

次のような患者さんは、酸化マグネシウム製剤により、高マグネシウム血症が発症しやすいと考えられています。

- ・ 本剤を長期間服用している患者さん
- ・ 腎障害を有する患者さん
- ・ 高齢の患者さん
- ・ 便秘症の患者さん

「高マグネシウム血症」の発症・重篤化防止並びに早期発見のため、以下の点にご留意ください。

- ・ 上記に掲げた患者さんには、**定期的に血清マグネシウム値を測定する**など特にご注意ください。
- ・ 漫然とした処方を受け、**必要最小限にとどめて**ください。
- ・ 患者さんに高マグネシウム血症の症状があらわれた場合には**服用を中止し、直ちに医療機関を受診する**ようご指導ください。

血清マグネシウム濃度と症状

- ・ 血清マグネシウム濃度ごとの臨床症状を下表に示します。
- ・ 酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さんに以下のような症状があらわれた場合には、高マグネシウム血症の可能性を考慮し、適切にご対応を行ってください。

血清Mg濃度 (mg/dL)	症状
4.9～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など